

令和6年度 第3回学校運営協議会 記録

栃木市立真名子小学校

Ⅰ 日時および場所

日時 令和7年1月23日(木) 14:05～15:30

場所 真名子小学校音楽室

Ⅱ 参加者等

欠席者 3名

Ⅲ 内容

1 開会 14:05～

2 会長挨拶 14:05～

3 協議 座長：会長 14:07～

(1)「目指す児童像」の達成状況について(学校長より配布資料をもとに説明)

- ①今年度の成果と課題について児童の姿から
- ②次年度に向けて(本校のならではの「強み」「弱み」から捉える次年度の取組)
- ③次年度の学校経営全体構想図及び学校運営の重点

〔補足説明〕

- ・グローバル教育推進への助言を生かし、外国語担当者、ALT が中心となり児童の目に触れる場所に、英語表記(単語・簡単な文章)のものを掲示している。
- ・児童作品「己書(おのれしょ)」を夢ホールに展示した。

委員) 地域密着の意味でも夢ホールの活用は有効。

委員) 2点ともすぐ動いていただいてありがたい。

全体説明後

委員)「弱み」 保護者ボランティアが少ないということについてだが、タブレット等での保護者ボランティアとは具体的にどのようなことか。

⇒操作の仕方のサポートがあるが、家庭での活用の周知も兼ねたい。また、学習活動について保護者の方々にも学校に入ることによって理解を深めていただきたい。

委員) 保護者に学校が説明するとよい。例えば、どのようなボランティアがいいのか具体的に説明する。1・2名でもいいから来ていただけないかと呼びかけるといいのではないか。

⇒前任校では、地域と並行して保護者にも呼び掛けていた。

委員) 学校から保護者が来やすいような環境を作るとよい。保護者が来校し実際にみることも大切。来たい方もいるのではないか。

委員) 地域ボランティアの方々の高齢化が進んでいる。新しい人材を広げていきたい。

⇒ボランティアについては、次年度は保護者に呼びかける。

委員) 我々の知らない保護者の得意分野があるのではないか。うまくいけば保護者もどんどん楽しくなるはず。他の学校にない、保護者・学校・地域という環境ができるのでは。

⇒まさに地域に開かれた学校、教育課程。

委員) 今回、先生方の気持ちがわかってよかった。若手とベテラン。中間がない。若くてもベテランでも、真名子小は先生方がまとまっていてとてもよい。

(2) 学校評価の関係者評価の結果報告(教頭より配布資料をもとに説明)

- ・朝食をとらないことに関しては家庭の協力も仰いでいく。
- ・元気なあいさつについては、教職員から元気なあいさつをしていく(率先垂範)。

(3) 本年度の小中一貫教育の取組とアンケート(教頭より配布資料をもとに説明)

- ・メディア視聴時間、小学生の方が長い。約半数に近い児童が家庭で2時間を超えている。家庭と連携して改善できるよう取り組んでいく。多い子は4時間以上。課題である。

委員) 意見なし

(4) その他

委員) 小中一貫の取組、目標8割達している。

家庭学習については、家庭での考え方も異なる。取り組もうとした、でよいのではないか。

4 閉会